

【B-5】

企業名	伊勢くすり本舗株式会社		
テーマ	伊勢伝統薬ブランドの6次産業化に向けての取り組み		
代表者	代表取締役社長 加藤宏明	設立年月	H16年6月（創業1570年）
所在地	〒516-0026 三重県伊勢市宇治浦田1丁目5-33		
業種	医薬品製造販売業	資本金	3,000千円
従業員数	10人	URL	www.isekusuri.co.jp
電話番号	0596-21-2460	FAX	0596-21-2461
主業務製品	萬金丹(指定医薬部外品)、おはらい丸(第2類医薬品)、萬金飴、神楽の薬湯(医薬部外品)		
【求める支援】	生産 提携先	販売 提携先	技術 提携先 海外進出 支援
【発表の目的】			
<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢の伝統薬『萬金丹』(健胃清涼剤)『おはらい丸』(お通じ薬)のPR（伝統薬の新規承認医薬品） ● 弊社の目指す生薬・伝統薬・漢方薬等の6次産業化に向けた取り組みのPR ● 販路開拓(国内・海外)および生産農家の開拓。 			
【製品等の概要・特徴】			
<p>伊勢には古くから伝わる伝統薬があり、江戸時代には全国的に有名になった『萬金丹』をはじめ、数多くの伝統薬が存在していました。伊勢くすり本舗は、1570年創業の加藤延寿軒を祖とする伊勢伝統薬を製造販売する製薬会社で、昔ながらの丸薬『萬金丹』・『おはらい丸』等の製造販売・直販・通販を行っています。</p> <p>現在、三重県内の農家と契約して、農家に薬草の栽培を行い、医薬品原料(漢方・生薬原料)に加工し、今後、国産(三重県産)の生薬を用いた医薬品の商品開発・漢方薬局への提供を行っていくことを計画しています。本年度は芍薬 2000kgを収穫し、医薬品原料加工、漢方薬『芍薬甘草湯』の承認申請を行う予定をしています。</p>			
【現在の進捗状況・今後の展開等】			
<p>現在、『伊勢萬金丹』(指定医薬部外品)、『伊勢おはらい丸』(第2類医薬品)の2品目の医薬品・医薬部外品の承認を得て、今後も『伊勢伝統薬シリーズ』として生薬・漢方製剤の開発に取り組んでいきます。</p> <p>現在、浴用剤の『神楽の薬湯』(医薬部外品)の生薬原料に三重県鈴鹿の農家が作った芍薬を医薬品原料として用いており、国産生薬で製造していくことを目指しています。また、県内の農家と共同で、生薬原料の生産から医薬品商品開発を行い、販売まで行う生薬医薬品の6次産業化を目指していき、一つ一つ生薬の種類を増やしていき、地元漢方薬局と提携して、三重県産生薬の生産と消費を増やしていくことを目指していきます。</p>			
			
【想定される販路】			
<p>自社開発商品の販路としては、自社販売・ネット通販が中心。 その他、伊勢近辺の土産物店、提携する漢方薬局やドラッグストアー。 海外(中国・台湾・アメリカ等)で販路開拓を開始しています。</p>			